

TICKET  
TO  
TOMORROW



2017年4月20日  
JR東日本秋田支社

## 秋田から新たなワークスタイルを発信 4月24日(月)より新社屋での業務を開始します！

JR秋田支社は、秋田県・秋田市と一体となり、地域と連携して取組む「ノーザンステーションゲート秋田」として、次の20年に向けた秋田の活性化を目指した取組みを進めています。先般3月25日、新社屋の落成式典を行い、4月24日(月)より、新社屋において業務を開始します。今後、現社屋の撤去および外構工事を進め、年内に完成する予定です。その後、跡地でのABS秋田放送の工事を進めていきます。JR秋田支社は、今回の新社屋への移転を契機に新たなワークスタイルを実践し、今後の環境変化に対応し、世代交代を乗り越えるべく、秋田から次代を支える働き方を発信していきます。

### 1 新社屋の概要

名称：JR秋田支社ビル

住所：秋田県秋田市中通七丁目1番1号

敷地面積：7,458㎡ 延床面積：6,246㎡(新社屋部分)

構造規模：鉄骨造5階建て 最高高さ：21.92m

※住所とNTT電話番号は変更ありません。



### 2 新社屋のコンセプト・特徴について

#### (1) 共用部について

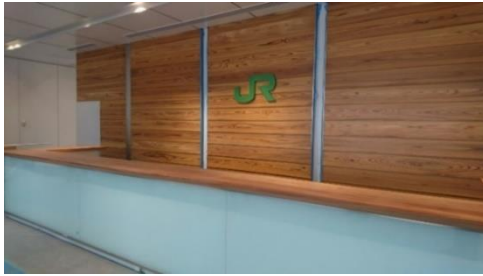
- ・1階エントランスでは『秋田杉の内装』と『秋田杉の香り』でお迎えするとともに、エントランスロビーでは、秋田・津軽エリアの観光情報を発信します。
- ・Suica対応のセキュリティドア、出退勤・会議出欠システム、複合機等を導入、1枚の非接触ICカードで様々なオフィスワークを支援します。
- ・大規模災害時の拠点機能強化を図るため48時間対応の非常用発電を設けるほか、電力消費量をリアルタイムに『見える化』し、省エネルギーにつなげます。
- ・執務室入口に在席状況を『見える化』した受付システムを導入。また会議室の空予約を防止する『見える化』モニタも導入予定です。

#### (2) 新たなワークプレイスについて

- ・各執務室の窓側に『コミュニケーションエリア』を設けます。様々なタイプの打合せに対応し、活発なコミュニケーションと情報連携を促進します。
- ・4人用の大机を採用。『クリアデスク』を実践しセキュリティの強化を図るとともに、社屋内の無線LAN環境を整え、ペーパーレスの会議や打合せを推進します。
- ・Web会議に対応した『e会議室』を各階に設け、遠隔地との打合せや、様々な会議を行います。移動時間を短縮することで生産性の向上につなげます。



# 新社屋の主な特徴



秋田杉の内装と香りのエントランス



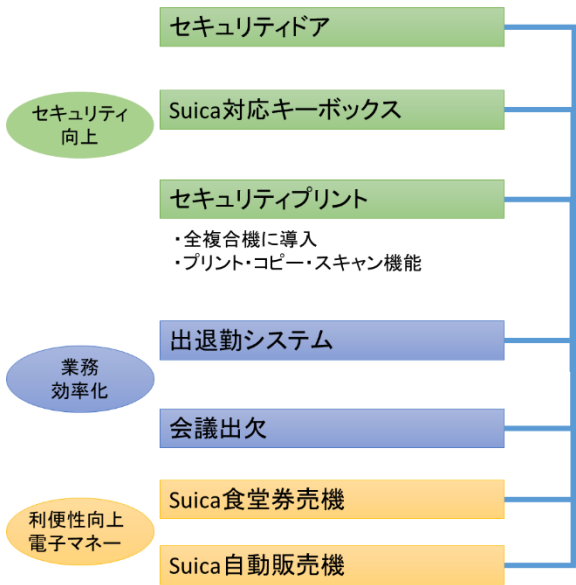
電力消費量の『見える化』モニタ



在席状況『見える化』受付タブレット



会議室予約『見える化』モニタ（5月設置予定）



出入口のSuicaリーダー



Suica 対応出退勤システム



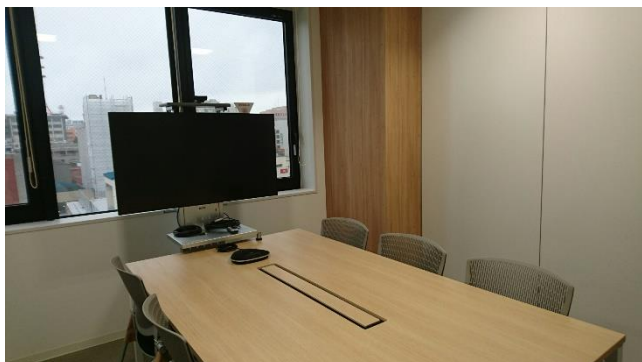
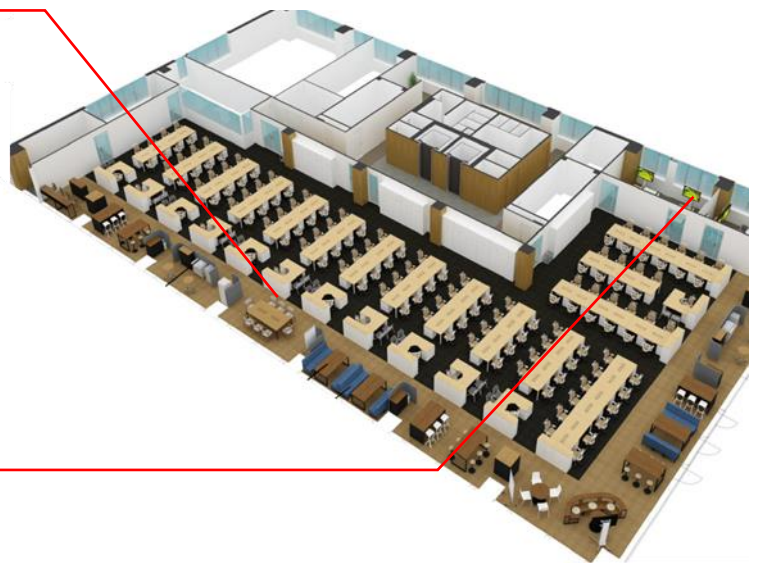
会議出欠Suicaリーダー



Suica 対応自動販売機



執務エリア（左側）とコミュニケーションエリア（窓側）



Web 会議に完全対応した e 会議室